

東日本大震災から14年



東日本大震災から14年を迎えた3月11日。
犠牲となられた方々の追悼および「震災の記憶・教訓の伝承」
として、東日本大震災南三陸町追悼行事を実施しました。
午後1時から6時までの間、献花および追悼の場としてベイ
サイドアリーナ文化交流ホールに用意された追悼献花場には、
多くの人が訪れ、献花を行いました。
また、南三陸311メモリアルや震災復興祈念公園にも多くの
人が訪れ、手を合わせました。
震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするととも
に、この日は、鎮魂の深い祈りに包まれました。

今年も大盛況！

2月23日(日)、志津川仮設魚市場で「第4回ラムサール
志津川湾牡蠣祭り」を開催しました。
JFみやぎ志津川カキ部会様とJFみやぎ戸倉カキ部会様
にご協力いただき、今年も約3,000個の蒸し牡蠣の無料配布が
行われました。大鍋で蒸されたばかりの牡蠣を志津川・戸倉
の生産者が目の前でむいて提供し、丹精込めて作り上げた牡
蠣を来場した皆さまに味わっていただきました。
この日は約6,000人もの方が当町自慢の牡蠣を求めて来場
しました。



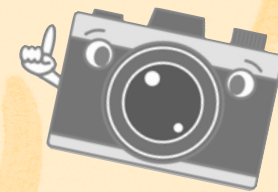
守りたい 未来があるから 火の用心



町では、防災行政無線を活用して、南三陸消
防署と戸倉小学校少年消防クラブより、春の火
災予防運動の放送をしました。
今回は、戸倉小学校6年生の三浦聖太^{せい}さんと
渡辺朝葉^{あさ}さん、星まつりさんが担当しました。
3人は「とても緊張した。思ったよりも簡単
だった」とそれぞれ感想を話してくれました。
火の取り扱いには十分注意し、火災のない安
全安心な町にしましょう。

お詫びと訂正

広報3月号で掲載した内容に一部誤りがありました。
深くお詫びし、次のとおり訂正します。
30ページ「今月のsmile」1行目
(誤)小野寺 凛^{りん}ちゃん → (正)小野寺 凛^{りん}ちゃん



みな
しぽ

志津川ミニバス初の快挙！



2月1日(土)から予選が行われた「2025
三菱電機カップ第42回宮城県U12新人大会」
において、男子の部に出場した志津川バスケット
ボールスポーツ少年団が第2位の成績を収
めました。
志津川バスケットボールスポーツ少年団は、
1次・2次予選共に1位で通過すると、決勝
トーナメントでは名だたるチームを破り、見
事決勝進出を決めました。
16日(日)に行われた決勝では、POP仙台
BASKETBALL CLUB BLUESと対戦し、51対
66で敗れてしまいましたが、男子の部総勢
82チームが出場する中でチーム初となる準
優勝に輝きました。

地域との交流・つながりを目指して

2月18日(火)、総合ケアセンター南三陸みなさん通りで、南
三陸町自立支援協議会主催の「第2回いきいきサロン」が開催さ
れました。
いきいきサロンは、障害のある人と地域の人との交流を目的と
して、令和5年度から開催されています。
当日は、地域活動支援センター風の里によるPPバンドを材料
にしたバックの製作実演や販売、洗心会ワークショップひまわり
(気仙沼市)によるパンの販売、奏海の杜(登米市)によるクッ
キー、コーヒー販売などが行われました。
また、町内外のサービス事業所も参加し、訪問入浴の浴槽の展示や、訪問看護ステーションによる
血圧測定のほか、各事業所による事業内容の説明も行われました。
午前中のうちにパンやコーヒーが完売するなど、約130人もの人に参加いただき、笑顔あふれる交
流となりました。



地域おこし協力隊活動報告会を開催しました！



2月21日(金)南三陸まなびの里いりやどにて、本年度2
回目となる「地域おこし協力隊活動報告会」を開催しました。
本報告会は、隊員の活動内容を地域住民などへ広く周知す
ることにより、円滑な地域協力活動の推進を図ることなどを
目的に開催しています。
当日は、4名の隊員がこれまでの活動内容や今後の展望な
どを発表し、参加者はそのさまざまな活動内容に聞き入って
いました。
また、活動報告会終了後には、隊員と参加者が意見交換を
することができる懇親会が催され、各々にとって今後に繋がる有意義な時間となりました。
来年度以降も引き続き、報告会を開催する予定としていますので、ぜひご参加ください。